

（7）現地調査

仙台管区气象台及び福島地方气象台は、津波警報を発表した宮城県、福島県の津波観測施設のうち、鮎川検潮所（気象庁）、仙台港検潮所（港湾局）、相馬験潮場（国土地理院）の周辺における津波の痕跡等を確認するため、11月24日に現地調査を実施した。

鮎川検潮所のある鮎川漁港（宮城県石巻市）では、聞き取り調査による津波の高さは0.9m程度であった。鮎川漁港から北西に約4km離れた小淵漁港（宮城県石巻市）で2.1mの痕跡高を確認した。小淵漁港から約400m北西にある表浜港では津波は岸壁を越えておらず、聞き取り調査による津波の高さは0.8m程度であった。小淵漁港は、南北に細長く入り組んだ湾奥に位置するため、地形の効果により津波が高くなった可能性がある。また、小淵漁港から約9km北西にある桃ノ浦漁港（宮城県石巻市）でも津波は岸壁を越えておらず、聞き取り調査による津波の高さは0.6m程度であった。

仙台港検潮所のある仙台港（宮城県仙台市）では、聞き取り調査により津波が岸壁を越える位であったとの証言を得たことから、津波の高さを岸壁までの1.7mと推定した。

相馬験潮場のある相馬港（福島県相馬市）及び北に約8km離れた磯浜漁港（宮城県山元町）周辺では、津波の痕跡は確認できなかった。



図7-1 調査地域（国土地理院の地図を使用）

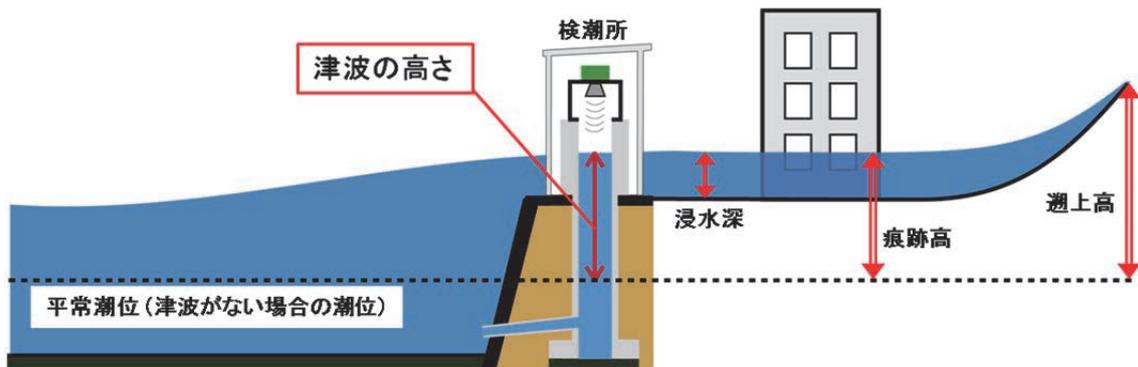


図7-2 検潮所における津波の高さと浸水深、痕跡高、遡上高の関係